

学長のコラム

学生 Voice ～熊本地震が熊本大生に残したもの～

熊本地震の前震から丁度半年経過した 10 月 14 日（金）に、第 40 回杏祭前夜祭イベントとして、標記の発表会が 50 周年記念館で実施された。発表者は、5 人（グループ）の 4 年生、聴衆は 1～2 年生＋教職員であった。

医学検査学科 4 年の島津 佑一郎君（報告 1）は、本学アリーナで受け入れた県外からの学生ボランティア延べ 277 人（12 泊）のお世話と交流について、いまだに連絡を取り合うほどの密度の濃さを報告してくれた。看護学科 4 年の中尾 勇介君（報告 2）は、避難所となった城南中学での救援スタッフ 35 名（熊大医薬系学生を含む）の一員として、約 2000 人の避難住民の世話をした報告。バイタルの測定やカルテの作成など看護学科生としての専門性を生かした活動に感心した。リハビリテーション学科理学療法学専攻 4 年の笠江 省太君（報告 3）は、避難所となった県立体育館において、「熊本大ボランティアかけつけ隊」なるものを組織して、支援した。これも、PT としての専門性を生かしたマッサージなどを実施し感謝されたとのこと。医療人として初めて役に立ったという達成感と共に、医療人を目指してよかったという言葉聞いて、うれしく思った。

リハビリテーション学科言語聴覚学専攻 4 年の栄 雄大君（報告 4）は、本学のアリーナに宿泊した県外からの学生ボランティアの活動ぶりを見て、個人よりチームの方が効果的であると感じ、さらに、なぜチームが良いかの分析を自分で行ったことについて報告があった。その結果、「考えるより、行動しろ」ということの重要性を知り、目的意識と行動力がグループ行動成功の鍵であると結論づけている。最後の発表（報告 5）は、リハビリテーション学科生活機能療法学専攻 4 年と医学検査学科 4 年のグループ 5 人（OT4 岩田 雄大君、本部 葉さん、MT4 山内 唯さん、日高 優美さん、伊藤 彩華さん）による宮崎県日向市での活動報告であった。宮崎県出身の 6 大学 27 名が募金、救援物資を集め、熊本市内 3 か所に物資を運搬するところまで実施されたとのことで、日向市の団体と連携し、きわめて組織的に活動を組織された点に感銘を受けた。

この日発表していただいた以外にも多くの学生が多くの経験をされたと思う。私どもが経験した苦難、災害から学んだ教訓、復興に関する知見を忘れずに心に刻むと共に、子や孫の世代までこの記憶を伝えることの重要性を認識することになったイベントであった。



10 月・11 月の主な行事予定

10 月 2 日（日）	大学コンソーシアム熊本主催・合同学園祭（会場：本学）
12 日（水）	学術講演会「疼痛研究の最前線」九州大学 井上和秀 副学長
15 日（土）	第 40 回杏祭 [14 日（金）杏祭前座祭]
19 日（水）	動物慰霊祭、文科省高等教育局 吉光紗綾子氏講演会
23 日（日）	熊本県高等学校生徒理科研究発表会（会場：本学）
24 日（月）	平成 29 年度科研費申請書学内締切
29 日（土）	ふれあいフェスタ in ほくぶ（～30 日）
11 月 1 日（火）	医学検査学科臨地実習認定式
5 日（土）	リハ社会人入試、助産別科推薦入試、大学院推薦選抜、社会人選抜（I 期）入試 フットボールフェスタ 2016（～6 日）、西里っ子ひびら祭り
7 日（月）	入試業務説明会・面接研修会（主に教員）（～8 日）
8 日（火）	入試業務説明会（主に事務職員）
12 日（土）	指定校推薦・一般推薦入試
13 日（日）	井芹川大清掃
17 日（木）	熊本県私立大学協会研修会（会場：ホテルニューオータニ熊本）
20 日（日）	第 8 回市民健康生活フォーラム（MUSASHI 会）
21 日（月）	インフルエンザワクチン接種 ※29 日（火）も実施
24 日（木）	定期健康診断
26 日（土）	看護学科臨地実習合同研修会
28 日（月）	学校法人銀杏学園理事会・評議員会

杏祭

今年で 40 回目を迎えた熊本保健科学大学の学園祭「杏祭」。テーマは 40 回にちなんで「4 everyOne（フォーエブリワン）～伝えたい想い～」です。私たちは、震災後に寄せられた暖かいご支援、激励のメッセージのおかげで再び立ち上がることができています。皆さまへの感謝の想いを伝えたい、そんな願いが込められたテーマになっています。前座祭からの 2 日間を通じ、各種ステージやイベント、模擬店や文化展など趣向を凝らした企画で参加した大勢の方々を楽しませてくれました。15 日の夜にはたくさんの打ち上げ花火が夜空を彩り、「杏祭」のフィナーレを飾りました。（文責：佐藤学務課長）



相互授業参観（ピアレビュー）

FD 委員会では、平成 28 年度後期より新たな取り組みとして「相互授業参観（ピアレビュー）」を行っています。第 1 回のピアレビューは 9 月 28 日、リハ学科長の長倉先生による「義肢装具学総論」の講義を対象に実施し、学長を始め 16 名の教職員が参観しました。相互に刺激し合うことで授業改善や教育力向上につながることを期待します。第 2 回以降も積極的な参加をお願いします。（文責：FD 委員長）



しんぶんカフェ in 熊保大

10 月 1 日（土）、新聞をテキストに、学生と地域の方々が繋がる場として「しんぶんカフェ in 熊保大」が開催されました。当日の朝刊から気になる記事を見ついたり、切り抜いた見出しを組み合わせ川柳を作ったり、始めはぎこちない雰囲気でしたが、徐々に打ち解け会話が弾み、和やかな会となりました。オマケで参加させていただいた娘（小 2）も良い経験をさせていただきました。（文責：学務課 坂元）



私の秘話ヒストリー

今回は高濱和夫学部長に投稿していただきました。

時は 1987 年、西ドイツ、フランクフルトのマックスプランク脳研究所に留学していた時のお話。用意された宿舎は、郊外のシュバンハイムにあった。まわりを広大な芝生に囲まれた瀟洒な 4 階建ての 1 階が私の宿舎であった。そこから東へ 10 分も歩けばメルヘンチックな商店街に、南に 5 分も行けば森を散策することができた。「さあーやるぞ！」という高揚感が漲っていた。留学後 1 か月ほどたった頃、夕陽の残照がまだ残っている時間にアパートに戻り、ドアの鍵をあけて、「秘話」は起こった。二人の人影が見えた。はてな？と思いつつも、私はそのまま歩みを進めた。突然、バタバタバタ・・・、一人が手を振りかざしながら、ウオーッという大声を上げて飛びかかるように襲ってきた。もう一人は、後方で、腰を落として身構えた。私はとっさに後ろに下がり、ドアを開めた。10 分（？）ほどして、部屋に入ると惨憺たる有様であった。恐怖も今となっては懐かしい思い出である。（文責：高濱学部長）

厚生労働大臣表彰!!

生活機能療法学専攻の木村伊津子教授が、多年にわたり作業療法士として国民医療の向上発展に寄与されたことが評価され、厚生労働大臣表彰を受賞されました。おめでとうございます!!

リハビリテーション学科合同就職説明会

平成 28 年 9 月 28 日（水）、本学アリーナにてリハビリテーション学科の合同就職説明会を開催いたしました。当日は 69 施設 125 名の医療施設の皆さまにお集まりいただき、各施設の業務内容や教育体制、採用情報などについてご説明いただきました。また、社会人 1 年目の本学卒業生が学生たちに説明している場面も見受けられ、学生たちは身近に働くことを感じ取ることができたと思います。4 年生はこれから就職活動が本格的に開始いたします。自分たちの納得のいく就職活動ができることを期待しています。

（文責：就職支援センター）



大学コンソーシアム熊本主催：合同学園祭

大学コンソーシアム熊本主催で、10 月 2 日（日）に本学において合同学園祭が開催されました。熊本県内の大学と高専が集まり、ステージイベント（音楽・ダンス）や大学 PR ブース、サークル展示ブース等の企画を行い、大学生同士の交流はもちろんのこと高校生との交流の場となりました。

（文責：学務課）



平成28年度学術講演会「疼痛研究の最前線」

10 月 12 日（水）に平成 28 年度学術講演会を 1300L 講義室において実施しました。今回は講師に世界のトップを走る疼痛研究者で、紫綬褒章を受章されている九州大学理事・副学長である井上和秀先生をお招きし、『疼痛研究の最前線』のテーマでご講演いただきました。講演後にはフロアから多くの質問があり、有意義な講演会となりました。（文責：企画課）

